

(大阪西北部)

高畠町遺跡は、武庫川右岸の沖積地上に立地する遺跡である。今回の調査は、阪急電鉄西宮北口駅の南東四〇〇mに位置する阪急西宮スタジアム跡地の再開発事業に伴つて実施したものである。

調査の結果、古墳時代前期初頭及び中期の集落と生産域、奈良時代の井戸、平ら室町時代にかけての集落と条里型水田を検出した。

- |   |               |                       |
|---|---------------|-----------------------|
| 1 | 所在地           | 兵庫県西宮市高松町             |
| 2 | 調査期間          | 第五次調査 二〇〇六年(平18)四月～一月 |
| 3 | 発掘機関          | 高畠町遺跡第五次発掘調査団         |
| 4 | 調査担当者         | 永島暉臣慎・西村匡広            |
| 5 | 遺跡の種類         | 集落跡                   |
| 6 | 遺跡の年代         | 古墳時代～中世               |
| 7 | 遺跡及び木簡出土遺構の概要 |                       |

たかはたちょう

## 兵庫・高畠町遺跡

木簡は、奈良時代の井戸四一七から一点出土した。井戸四一七は、

一辺三・五mの掘形内に、内法が一・二mを測る相欠き仕口組型の大型方形井戸枠を有する。井戸枠上部は抜き取られており、幅〇・〇七〇・二〇mの板が四段分遺存していた。井戸枠上面から井戸底までの深さは〇・六mを計測する。井戸の埋土は、井戸枠検出面まではこぶし大の礫を包含する砂礫層で、井戸枠上面から〇・五mまでは落下した木材や木屑を包含する有機質層である。木簡は、その下の有機物を含む砂質シルト層から出土した。同層からは、ほかに和同開珎一点、斎串三点、須恵器杯一点、土師器杯一点などが出土している。共伴した須恵器杯・土師器杯は、平城宮IIIの土器(七三〇～七五〇)に相当し、井戸の年代もこの時期と考えられる。なお、木簡が出土した奈良時代の井戸と共に存する時期の遺構は検出しない。

なお、今回の調査地の南側で実施された第二次調査において、墨書き土器が出土している。器種は杯蓋と考えられ、墨痕がその外面に認められるが判読できない(兵庫県教育委員会「高畠町遺跡II」(兵庫県文化財調査報告一八二、一九九九年))。

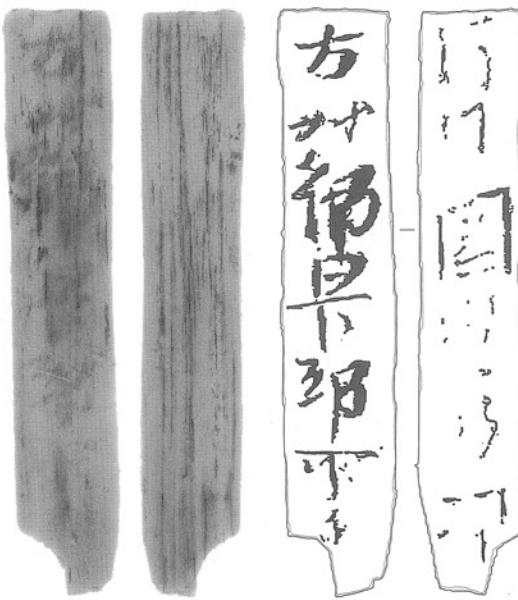
## 8 木簡の釈文・内容

(1)



- ・「方□郷日下□□□」

(132) × 25 × 3 019



柾目材。上端は切断による整形で、切り込みはない。左右両辺は削り整形である。下端は右部が折損するが左部は残存しており、原型は〇五一型式であると考えられる。表面に「国」「郡」と思しき文字を確認でき、裏面は郷名＋人名とみられることから、郷制下の荷札の可能性が考えられるが、国郡名の釈読は困難であり、また該当する郷名も特定できない。

なお釈読にあたつては、奈良文化財研究所史料研究室の方々のご教示を得た。

木簡研究 第二六号

**概要** 平城京跡(左京三条三坊一坪) 平城京跡(右京北近) 平城京跡(右京北近)  
**寺二坊二坪** 法華寺跡 旧大乘院跡 庭園 藤原京跡 石神遺跡 清和寺  
**寺南四条** 宗南寺遺跡 鳥羽遺跡 鳥羽離宮跡 東福寺常樂庵庫裏 中世勝龍寺  
**城跡** 難波宮跡(1) 難波宮跡(2) 大坂城跡 九頭神遺跡 奈良井遺跡  
**玉楠遺跡** 久宝寺遺跡 兵庫津遺跡 玉津田中遺跡 北村庵寺 有間  
**城跡** 伊丹郷町遺跡 现石城 武家屋敷跡 対中寺遺跡 在佐川遺跡 清和寺  
**洲城下町** 大木冲遺跡 土橋石塚跡 北条時春・時賴墓跡 永秀寺  
**跡** 佐助ヶ谷遺跡 水戸藩德川家小石川屋敷跡 (春日町) 遺跡 第4回  
**点** 旗本岩瀬家屋敷跡 (新諏訪町) 遺跡 竜泉寺町遺跡 台東区  
**No.68 遺跡** 馬場下町遺跡 (元町一丁目) 遺跡 神明遺跡 北島遺跡 (第4回)  
**一九地点** 松本城下町跡 六九 松本城下町跡 宮谷町 樺崎寺跡  
**田目** 条里制遣構 (門田条里制跡) 東高麗荒井畠田 長徳寺前遺  
**仙台城跡** (の丸地区) 竹ノ内遺跡 市川橋遺跡 龍門寺茶番  
**跡** 古志田東遺跡 山形城跡 新谷地遺跡  
**遺跡** 観音堂遺跡 新田(一)遺跡 津軽氏城跡 弘前城跡 本町一丁  
**目遺跡** 石名田舟木遺跡 井戸城跡 小杉城  
**流通業務団体** 高木舟木遺跡 額海寺跡 水橋  
**金広** 中馬場遺跡 下前川原遺跡 道端遺跡 青田遺跡  
**米子城跡** 米子城跡 才ノ峰遺跡 青木遺跡 鹿田遺跡 尾道  
**遺跡(KG○七地点)** 周防国府跡 長門国分寺跡 長門国府跡 (宮  
**内の地区** ) 德島城下町 跡 觀音寺遺跡 敷地遺跡  
**ノ丸地区** 高松城跡(1) (東高麗) 高松城跡(1) (東  
**屋敷跡)** 雨雀遺跡群 小倉城跡 在自西ノ原遺跡  
**柏町遺跡** (長崎奉所立山役所跡) 北島北遺跡 半田口遺跡 炉  
**一九七七年以前出土の木簡** (二六) 平城宮跡 扱田柵跡  
**積文の訂正と追加** (七)  
**山田寺跡** (第五、一二、一三号) 宮内黒田遺跡 (第二二号)  
**書評** 平川南著 「古代地方木簡の研究」  
**中新アジア出土のチベット語木簡** その特徴と再利用  
**新刊紹介** 木簡学会編「日本古代木簡集成」  
**頒佈** 五五〇〇円  
**文字の形と語の識別」「参」の二つの字形** 竹内亮  
**弥勒寺西遺跡** (第二五号) 安芸国分寺跡 (第二四号)  
**中** 中央アジア出土のチベット語木簡